

議員派遣結果報告書

1	名 称	令和7年度鳥取県町村議会議員研修会
2	場 所	アロハホール（湯梨浜町）
3	期 間	令和7年11月28日（金） 1日間
4	内容・成果	<p><内容></p> <p>講義：「地方議員のなり手不足の背景を考える 議員報酬・議員定数も意識して」</p> <p>講師：河村和徳氏（拓殖大学経済学部社会安全学科教授）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方議会には改革が求められている <ul style="list-style-type: none"> 内なる改革：自主的な改革 <ul style="list-style-type: none"> →議員全員のベクトル合わせが難しい 外なる改革：制度的な見直し <ul style="list-style-type: none"> →制度設計と現場とのギャップが大きい ・ 求められている議会とは <ul style="list-style-type: none"> ○効率的な議会→代議制民主主義はもともと効率性が悪い ○開かれた議会→多くの声を聴くことができる議会 ○政策に強い議会→政策提言できる議会 ○危機に強い議会→危機下でも機能する議会 ・ 見える化 <ul style="list-style-type: none"> 情報公開、議会の品位 ・ 報酬・定数 <ul style="list-style-type: none"> 町村議員はアマチュアでいいのか （地域の代表+αが求められる） 議決する組織としては、議員は多い方がよい（多様性） 議論する組織としては、適切な規模がある（6～10） <p>講義：「住民が求める地方議会・期待される地方議会とは何か エビデンス・ベース・ポリシー・メイキング」</p> <p>講師：渡辺太樹氏（社）地方公共団体政策支援機構上席研究員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そもそも議会とは <ul style="list-style-type: none"> 質問・審議・審査をすること自体が目的ではない 住民福祉の向上・地域の発達を目指すことが目的 ※手段と目的を間違えない

	<ul style="list-style-type: none"> ・住民起点になっているか⇔政策レベルになっていないか ・まちの問題と課題 問題：実際に起きていて、目に見えること 課題：問題の原因となる「解決可能な取り組むべき」こと <ol style="list-style-type: none"> ①現状と問題を把握する ②原因を深掘りする ③解決できる課題を特定する ④政策を検討する <p>※政策というアイデアや手段から入らない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状と問題の把握 データでみると現状と問題が見えてくる ・「まちの課題とは何か」ではなく「まちの現状はどうなっているのか」ここから始めることで課題が見えてくる <p>住民の声→現状把握→地域課題→総合計画→施策／政策 →予算（事前検証）→決算（事後検証）→改善→住民の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要とされている議会の役割 執行部起点 × 議会起点 = 住民福祉の向上、地域の発達 <p><成果> 現在、進めつつある広聴機能の強化について、方向性としては間違っていないことの確証を得たので、さらに進めていく。外部からの情報収集、スキル獲得だけでなく、議員全員のベクトルを合わせるための内部の調整も必要。</p>
--	--

提出期限 令和7年12月19日（金）まで